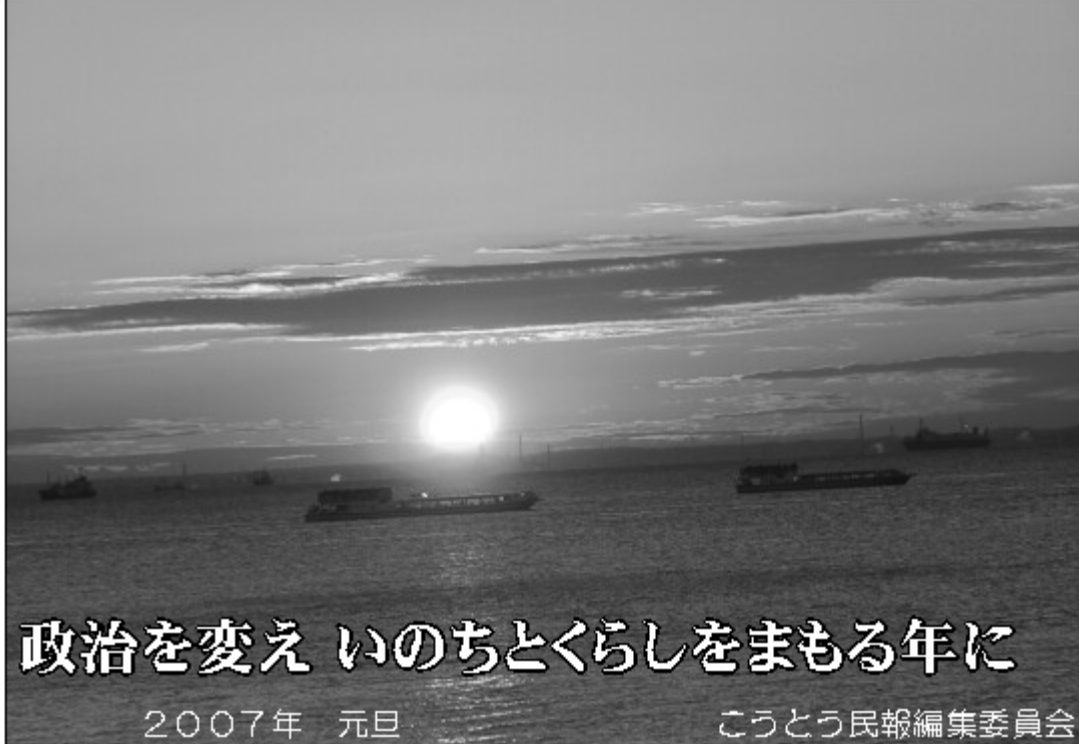


江東区の職場・地域、議会などくらし・平和を守る運動をご紹介します。



# 政治を変えいのちとくらしをまもる年に

2007年 元旦

こうとう民報編集委員会

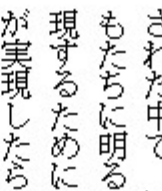
本年4月の都知事選をはじめとするいっせいで地方選挙、7月に予定されている参議院選挙など国政と地方政治にかかわる重大な選択の年になります。それぞれの分野から国政や都・区政に対する要望や期待をお寄せいただきました。



東京土建江東支部  
執行委員長

**本田 幸一**

あけましておめでとうございます。昨年東京土建江東支部は、創立五十周年を五五〇〇人組織で迎えることが出来ました。祝賀会には大勢の皆さんにご参加・祝福いただき、大変ありがとうございました。さて東京土建は、小泉「構造改革」のもたらした「貧困と戦争への道」を闘いの最重要課題と位置づけ



新日本婦人の会  
江東支部長

**中村 美智子**

教育基本法改悪が強行された中で、江東の子どもたちに明るい未来を実現するために、次のことが実現したらいいと思います。  
①少人数指導でなく少人数級級を。  
②フレンドリーな学級にし、差別のない行き届いた指導をするために学級づくりが大切。  
③学校選択の自由をなくし、地域に根差した学校を。  
④地域、父母、子どもが協力し合い良い人間関係を作ることが今求められています。地元を大切に育てることなしに、私たちの未来に希望は生まれません。( )



江東生活と健康を守る会 会長  
**佐藤 巖**

年金・医療・介護などの改悪にとどまらず民主党も加わって憲法を改悪し、海外で戦争できる国づくりをめざす政治の暴走をストップさせるため、革新・民主の都・区政の実現と日本共産党の大きな前進が期待されています。高齢者に限度をこえた増税をおしつけ、生



江東民主商工会  
元事務局長

**加納 龍雄**

ことしは選挙の年、政治の流れを変える絶好の機会です。七二年に衆院選で日本共産党が大きく前進したとき付加価値税(いまの消費税)の創設を阻止し

生活ができないのは世の中が間違っているからです。日米の資本の利益を優先し国民に貧困と格差を押し付ける政治を何とかしても変え、歴史的な二〇〇七年をつくりましょ。



年金者組合  
江東支部長

**岡田 公明**

一昨年の秋、高齢者たちに年金・介護・税金などを話しかけても「政府に金がないから仕方ない」という返事でした。杖を押ししている人の多くは、

腰痛の治療に行く人です。昨年の秋は「政府に金がない」と言う高齢者に出会いませんでしたが、腰の治療に行く人はめっきり減りました。生活苦からでしょう。この上シルバークラスが廃止されたら高齢者は出歩く権利さえ奪われます。高齢者の生きる権利を守る年金者組合が組合員をふやすことが重要です。「楽しくなければ年金者組合じゃないよ」と頑張っています。



## 潮騒

八〇・一%、一九五一年四月の江東区議選の投票率である。二〇〇三年四月の前回区議選の投票率は四七・一五%▼普通選挙権は、一八八九年の衆議院議員選挙法公布以来、税金納付額、選挙から女性排除、若干の選挙権の拡大と抱き合わせでの治安維持法公布(一九二四年)など、時の権力により制限と弾圧にさらされてきた。現在の選挙制となったのは一九四五年、戦後である▼八〇%を超える投票率には、政治を変えたいとの江東区民の願いが込められている。半世紀超え五〇%さえ切った投票率には、「投票しても政治は変わらない」との区民のあきらめが反映している▼その背景には、オール与党なのに何か違いがあるかのように、「二大政党」などと持ち上げるマスコミの影響がある▼いっせいで地方選挙、参議院選挙と続く年、政治を変える絶好のチャンスだからこそ、「オール与党」の政党が、それとも日本共産党かの選択肢を、広範な有権者の流れにしている。ことが求められている。



# 政務調査費

# 日本共産党区議団が申し入れ

# 議会が「領収書添付」 条例改正で動く！

新年おめでとうございます。

日本共産党江東区議団は、以前から領収書添付の義務化を繰り返し求めてきましたが、昨年十二月十九日、区議会議長に対し「政務調査費の領収書添付を義務付ける条例改正」を早急に実施するよう、改めて申し入れを行いました。十二月二十八日の幹事長会では、日本共産党の申し入れの方向で条例改正を今年の第一回定例会で行うことが確認され、急拠動き出しました。



議長に申し入れを行う区議団

新しい年を迎え、メッセージが寄せられていますのでご紹介します。区長選は二月一日の決起集会に向けて諸準備が進められています。



都知事予定候補

よしだ まんそう  
**吉田万三**

新年おめでとうござい

私は政治の流れを変え、みんなが元気にくらす東京をつくりたいという思いで全都を駆けめぐっています。

石原都知事はくらしや福祉を切り捨てる一方、税金のムダ使いや都政の私物化をおこない、さら

に憲法改悪などの旗振り役を果たしています。こ

ういうひどいやり方を許すわけにはいきません。なんとしても都政転換の実現のために全力をあげます。

みなさんの大きなご支援を心からお願ひします。



日本共産党東京都委員会副委員長  
党参議院東京選挙区予定候補

たむらともこ  
**田村智子**

江東区のみなさん、昨年は大変お世話になりました。

政治の流れを変える絶好のチャンス今年二〇〇七年をみなさんはどのよう

に迎えられるでしょうか。私は元旦から西新井大

二〇〇七年が憲法九条を守り、暮らしと子育て

にゆとりと安心がもてる政治の流れの転換の年となるよう、歴史に残る奮闘を一緒にくりひろげ

しよう。

**都知事選**  
告示3月22日  
投票4月8日  
**区長 区議選**  
告示4月15日  
投票4月22日  
参議院選は  
7月予定

## 平和・くらし風土記 ⑭

江戸っ子の先駆的普選運動

### 深川理髪業組合

1890年7月に帝国憲法と衆議院議員選挙法に基づいて第1回総選挙が実施されました。

選挙権は国税15円以上(米1升7銭)納めた満25歳以上の男子のみに与えられ、有権者は人口の1%、45万人、東京5区の深川・本所区では0.15%、僅か275人でした。

「貧乏人に選挙権を与えるのは国家に反逆するのにひどい」といなど、普通選挙制はその後国会では何度も否決されてきました。

1897年ごろは高野房太郎らの労働組合期成会のよびかけで、深川・本所の石川島造船、東京印刷、東京紡績などで労働組合が結成され、闘いに立ちあがりますが、1900年の治安警察法で労働組合が禁止されると、普通選挙権の獲得をめざす政治運動が展開されます。



江東では深川区理髪業組合の高橋徳蔵、池田清次郎らが奔走し、12月10日深川公園の茶屋での総会に普選期成同盟会の幹部を招き、同会に加盟することを決定しました。そして翌年10月24日、永代橋際の蒸気船発着所であった西洋料理の永代亭で、大井憲太郎、片山潜、幸徳秋水、木下尚江などの錚々たる弁士による講演会を開催しました。江東区史には記録されず、片山潜編集の労働世界誌に「東京市中最も進歩した組合」と紹介されています。同業組合とはいえ、当時の社交場でもあった「江戸っ子の床や談義」で、政治論議が活発に交わされていた様子が彷彿とされます。

男子の普通選挙制の施行は、それから24年後の1925年です。有権者は1200万人にひろがりましたが、政治の変革を恐れた政府は同時に治安維持法を成立させました。女性の参政権にいたっては太平洋戦争の終結までお預けでした。

- 1月の行事案内
- 1月27日(土)19時、青年学習講座、江東文化センター第3研修室
  - 1月28日(日)10時、江東年金者組合新春演芸大会、砂町文化センター三階大研修室
  - 2月1日(木)18時、革新都・区政をめざす江東連絡会決起集会、江東文化センターホール
  - 2月3日(土)14時、江東健康友の会結成一周年記念新春のつどい、ティアラ江東大会議室A

